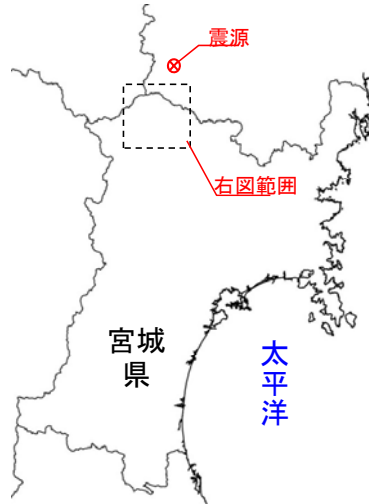
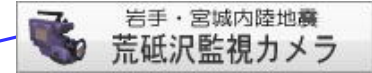
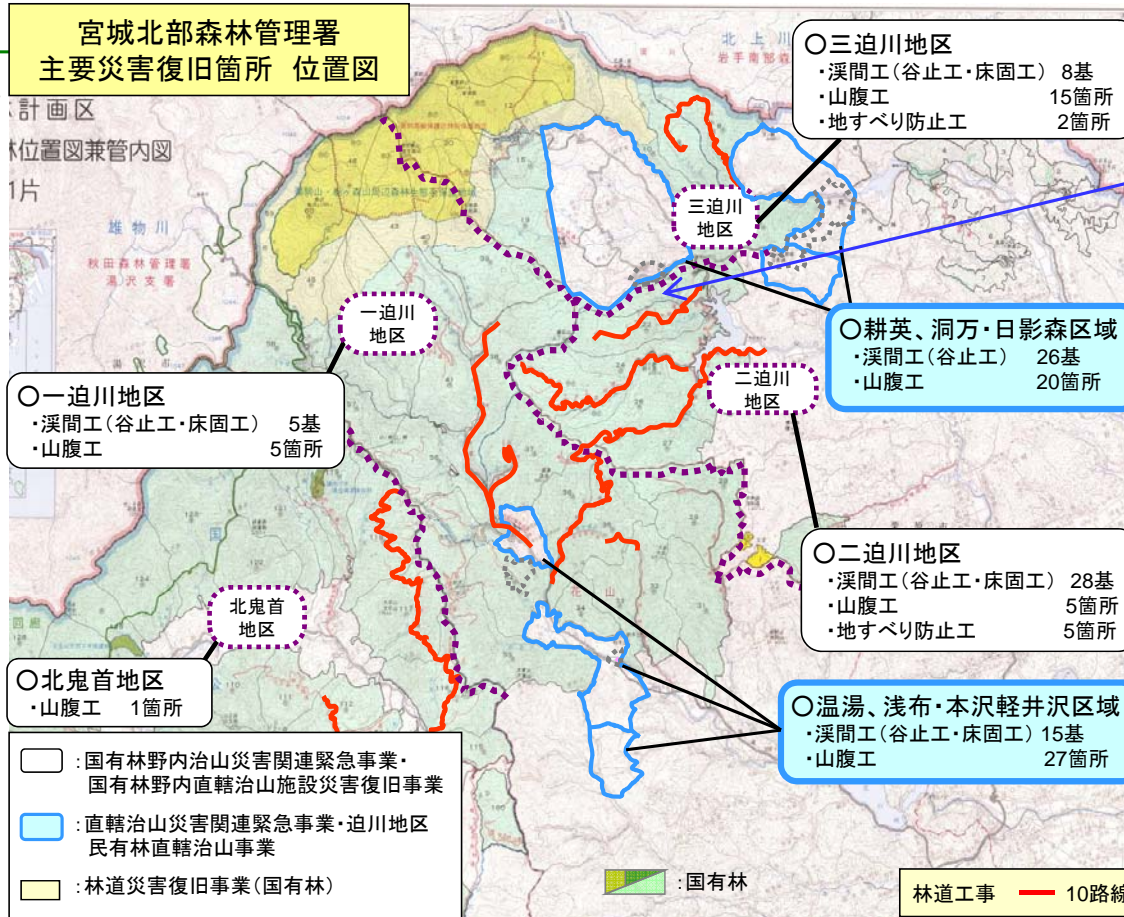


概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成24年度末までに国有林治山事業で溪間工41基、山腹工26箇所、地すべり対策工7箇所、民有林直轄治山事業で溪間工41基、山腹工47箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。平成25年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で7件、民有林治山事業で11件の工事を計画しています。



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
地震の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のパナーをクリックすると見ることができます。(http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html)



平成25年7月23日撮影

被災地の復旧状況 (山腹工の事例)

洞万I放森(H24)治山工事

本施工地は栗原市栗駒沼倉放森地内に位置しています。岩手・宮城内陸地震により大規模に山腹が崩壊し、大量の不安定土砂が発生しました。崩壊地面積は約2ha、不安定土砂発生量は10t ダンプトラック約7000台分に相当します。(約39千m3) 荒廃の拡大と土砂の流出を防止するため、直下の溪流に鋼製枠谷止工を設置し、崩壊地には、のり切工、コンクリート土留工、水路工、緑化工などを行いました。



平成20年9月撮影



平成25年7月撮影

栗原市総合防災訓練 (パネル展示の様子)

6月16日に開催された栗原市総合防災訓練において、岩手・宮城内陸地震による山地災害と復旧対策の進捗状況を紹介します。パネル等の展示を行い、多くの市民の方々に見ていただきました。



平成25年6月撮影

平成25年6月撮影

平成25年度 工事施行箇所

復旧工事を開始しました

- 1 耕英Ⅲ御沢(H25) [準備工]
作業歩道の作設などを行っています。



平成25年7月撮影

- 2 栗駒ダム下流 [準備工]
資材運搬路を作設中です。



平成25年7月撮影

- 3 洞万Ⅱ西沼ヶ森(H25) [準備工]
測量、支障木調査などを行っています。



平成25年7月撮影

復旧工事を進めます

- 9 河原小屋沢[鋼製柵谷止工]



平成25年7月撮影

鋼製柵を設置し、詰石を行っています。

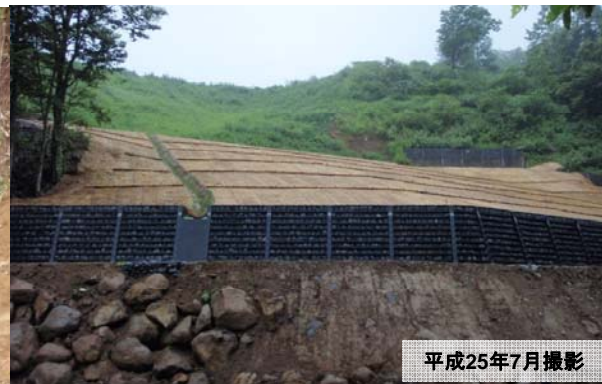
- 10 洞万Ⅰ西沼ヶ森(H25) [コンクリート谷止工]



平成25年7月撮影

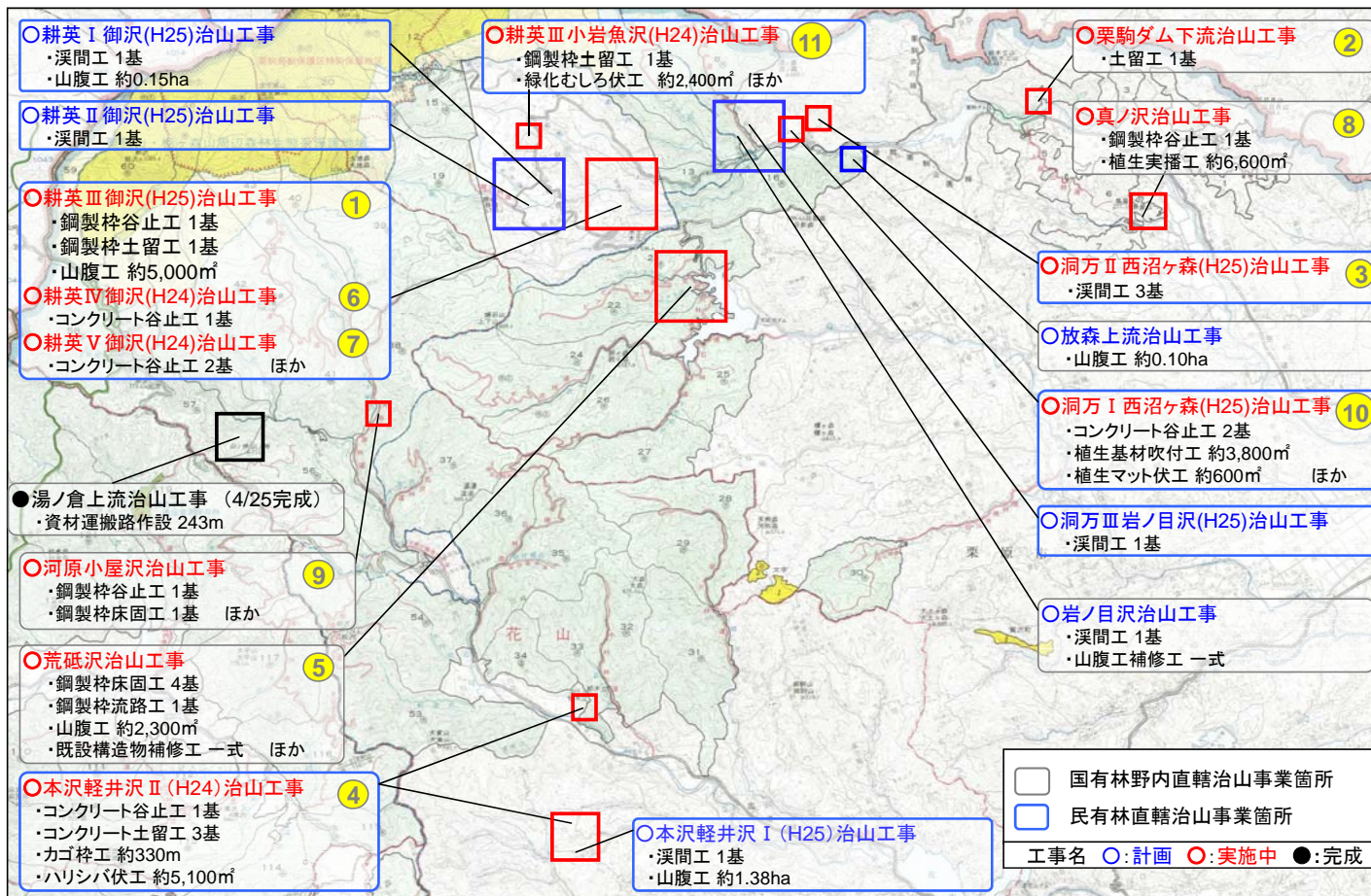
床掘を行っています。

- 11 耕英Ⅲ小岩魚沢(H24) [鋼製柵土留工ほか]



平成25年7月撮影

鋼製柵土留工、緑化工などが完成しました。



復旧工事を進めます

- 4 本沢軽井沢Ⅱ(H24) [コンクリート土留工]
木製型枠の設置、コンクリート打設を行っています。



平成25年7月撮影

- 5 荒砥沢 [山腹工]
緑化を行っています。



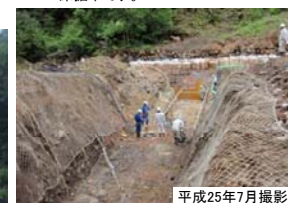
平成25年7月撮影

- 6 耕英Ⅳ御沢(H24) [コンクリート谷止工]
木製型枠の設置、コンクリート打設を行っています。



平成25年7月撮影

- 7 耕英Ⅴ御沢(H24) [コンクリート谷止工]
床掘中です。



平成25年7月撮影

- 8 真ノ沢 [鋼製柵谷止工]
床掘中です。



平成25年7月撮影